

「大衆」はいかにして 生まれたか



—漫才・ラジオ・大大阪—



講師 長崎 励朗

桃山学院大学 社会学部
社会学科 准教授

「大衆（マス）」という言葉が日本に広まったのは、関東大震災後、ちょうどラジオ放送が始まろうとする1920年代のことでした。その背景には、日本中から人の流れ込む巨大都市「大大阪」の姿がありました。見知らぬ者がひしめく街では、文脈を共有しなくても誰にでも分かる笑いが好まれます。吉本興業はその土壌の上で急成長し、やがてラジオと出会います。そして送り出されたのが、エンタツ・アチャコのしゃべくり漫才でした。

本講座は、「大衆」という新しい人間の集まりが生まれた瞬間を、大阪の漫才を手がかりに描き出します。

2026/11/25 (水)

【受講料】 無料 13:30-15:00

【受講方法】 対面/Zoom同時配信

対面会場は決定次第、メールでご連絡いたします
会場の定員数によって、先着受付となる場合がございます

in
桃山学院大学
(和泉キャンパス)

お申込み・お問い合わせ先

右のQRコードよりお申込みください



桃山学院大学
St. Andrew's University

桃山学院大学エクステンション・センター
〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1



対面受講



Zoom受講



0725-92-7036



<https://www.andrew.ac.jp/extension-center/>

《共催》大阪府